

●多賀城東部線の利用者の割合について

① 上り（国府多賀城駅行）

・2市町間の利用割合が減少し、多賀城市間の利用割合が増加している。

利用バス停\期間	H28.4~6	H29.4~6
七ヶ浜 ⇒ 七ヶ浜	0.7%	0.6%
七ヶ浜 ⇒ 多賀城	31.2%	28.0%
多賀城 ⇒ 多賀城	68.1%	71.4%

利用バス停\期間	H28.7~9	H29.7~9
七ヶ浜 ⇒ 七ヶ浜	0.6%	0.5%
七ヶ浜 ⇒ 多賀城	29.0%	27.4%
多賀城 ⇒ 多賀城	70.3%	72.1%

② 下り（七ヶ浜町汐見台中央行）

・上り便と同様、2市町間の利用割合が減少し、多賀城市間の利用割合が増加している。

利用バス停\期間	H28.4~6	H29.4~6
多賀城 ⇒ 多賀城	63.1%	68.4%
多賀城 ⇒ 七ヶ浜	36.6%	31.2%
七ヶ浜 ⇒ 七ヶ浜	0.3%	0.3%

利用バス停\期間	H28.7~9	H29.7~9
多賀城 ⇒ 多賀城	64.8%	67.8%
多賀城 ⇒ 七ヶ浜	34.7%	31.9%
七ヶ浜 ⇒ 七ヶ浜	0.5%	0.3%

③利用者一人あたりの単価

期間	単価
H28.4~6	200.8円
H29.4~6	194.7円
H28.7~9	204.0円
H29.7~9	195.4円

・上記の①②表より、運賃の高い2市町間の利用割合が減少し、運賃の低い多賀城市内の利用割合が増加していることから、運賃収入が減少（利用者一人あたりの単価が低下）している。